

SEEDs取組事例：使い捨てプラスチック製カトラリー類の配付削減ナッジ

【趣旨】

堺市内のコンビニ店舗などで配付される使い捨てプラスチック製カトラリー類（スプーン、フォーク等）を削減し、市民が排出する使い捨てプラスチックごみの減量につなげるため、事業者と連携してナッジを活用した実験を行った。

【課題（ボトルネック）】

・コンビニ利用客が飲食品を購入した際にカトラリー類を受け取る

【概要】

- 対象 コンビニ2店舗の利用客（店舗①：市役所庁舎内で営業 店舗②：市役所近隣の建物内で営業）
- 期間 店舗①：2022年2月1日～2月28日 店舗②：2022年2月1日～3月31日
- 内容 カトラリー類の配付方法を「原則配付」から「利用者による意思表示カードの提示」に変更



【活用したナッジ】

- ・配布方法のデフォルトを変更（Easy）
- ・意思表示カードのビジュアルやメッセージで社会的規範を提示（Social）

【結果及び考察】

- ・カトラリー類の配付割合について、店舗②では約9.6%pt、平日期間に限定すると約13.1%ptの低減効果を確認できた。一方、店舗①では約6.1%pt増加した。
- ・オフィス街など客層が固定化されている店舗では、配付割合の削減につながる可能性はあるものの、明確な結論を出すことは困難と考えられる。

店舗	介入前 配付割合平均	介入後 配付割合平均	差 (%pt)
店舗①（平日）	97.4%	104%	+6.1
店舗②（平日）	68.5%	55.4%	-13.1*
店舗②（土日祝）	56.9%	51.2%	-5.7
店舗②（全日）	63.7%	54.1%	-9.6*

※対応のない検定により統計的有意性を検証

*：5%有意